

The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 第3号

令和7年6月1日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

人それぞれに何かしら才能があります。ただ眠っている自分の才能に気がついていないだけです。気がつくためにはどうしたらよいのでしょうか。自分自身を磨いていくしかありません。そこで、「自分力」というキーワードで検索してみました。今はA I による概要が表示されます。

「自分力」とは、「自分で考え、自分で決め、自分で行動する力、またその総合的な能力」と書かれていました。

「自分力の意義」と「自分力を高める方法」も載っていたので紹介します。

自分力の意義

- ・学歴や資格、年齢、性別、家柄などにとらわれずに、自分らしさを貫くことができる
- ・職業や既存の概念にとらわれずに、生き方そのものが名刺代わりになる
- ・子どもたちが自信を持ち、夢や目標を持つために大切な習慣

自分力を高める方法

- * 結果や成果へと結びつけることのできる能力を磨く
- * 自己認識力を高める
- * 周囲と信頼性を磨き、コミュニケーションを取る力をつける
- * 「なぜ」ではなく「何を」の視点で物事を捉える
- * 他者にフィードバックを求める

自分力とは、誰かから「持たなきゃいけない」と強制されるようなものではありません。その名の通り、**自分で身につけ、自分で高めていくものです**。自分力を磨いて、眠っている才能に気がつきましょう！

自己認識力という言葉も気になったので、これも調べてみました。

自己認識力とは、「自分自身の性格や能力、思考方法、感情などを明確に理解する力」のことです。内面的自己認識と外面的自己認識があり、内面的自己認識とは自分の本当の姿を理解することで、外面的自己認識とは他人が自分をどう見ているかを理解する能力のことです。

皆さんには、自分の本当の姿を理解してほしいです。外面的自己認識が強くありませんか。自分の人生は自分で切り開いていくのです。

人生、「自分を見つめなおす→チャレンジ」の繰り返しです。自分を見つめなおすために、本があり、友人がいるのです。一人で分析するのもいいですが、「自分とは何か」を友人と会話を重ねることも大切です。新書もたくさん読みましょう。

つばさ生に以下の内容を伝えています。

1・2年次生へ

選択科目を考える際に、受験科目だけで考えてはいけません。自分力を磨くために必要な力は何なのか。それをベースに自分の人としての魅力全体を高めることもしっかり考えてください。学べば学ぶほど心は広がっていきます。

失敗した選択などありません。自分で判断した選択はすべて正しいのです。

3年次生へ

入れる大学等を探すのではなく、自分のやりたい・なりたいことが実現できる大学等を探してください。同じ志を持った人が多くいれば、可能性も広がります。人との出会いを大切に作る人であってほしいです。